●どっこい下農は雑草を作るで！ （平成22年7月23日発行　教育総務課施設係）

とよおか徒然芝（つれづれしば） No15

芝生化、それは草を育てること。子どもたちの根っこづくり・幹づくりを後押しし、明るく希望に満ちた地域の未来につながれば「上農は土を作る」に一歩近づけるのでは。曲解ですがそんな意気込みで綴ります。

梅雨が終わり、連日30℃を越える真夏日が続いております。グラウンドへ移植された芝も日光を存分に浴び、ライナーもグングン伸びていることと思います。ということで今回は「芝刈り」特集です！

★芝刈りの極意～高さは４０㎜、こまめに刈るベシ～

のびすぎ芝

各学校園でポット苗をグラウンドに移植されてから１月が経とうとしています。7月の2回目の施肥が行われている時期と思います。芝は順調に生長しており、学校園によっては高さが100㎜を超えている芝もあると思います。

ライナーの伸長を促進し、密度を高めるため、芝は 60 ㎜に伸びた時点で刈り込みをお願いします。

刈り込む高さは 40 ㎜です。ちょうど人差し指の先っちょから第一関節と第二関節の中間くらいの長さです。一度に低く刈り込みすぎると、芝の成長点も刈り取ることになり、芝生が茎ばかりになり枯死してしまう恐れがあります。あまりにも伸び過ぎている場合は、2,3 日空けて 1/3 ずつ徐々に低くしていくようにお願いします。

刈り込む頻度は、気候条件によっても異なりますが、芝の生長が旺盛なこの時期は、週 1～2 回の刈り込みが必要です。芝の伸び具合と相談してください。雑草もそのまま刈り込んでいただいて結構です。

★芝刈機は用法を守って正しくお使いください

7/21 中竹野小学校にて

7月 20 日、21 日の 2 日間で市内５小学校（中筋小、府中小、中竹野小、小野小、小坂小）で乗用芝刈機の講習会をメーカー指導のもと、実施しました。グランド面積の広い小学校では乗用芝刈機が大きな役割を果たしてくれますが、使用をひとたび誤れば凶器となり、取り返しのつかないことにもなります。幼稚園で使用される手押式芝刈機につきましても取扱説明書をよく読んで、事故のないよう安全運転に徹してしていただくことをお願いします。以下には講習会で特に重要と思われた事項を記したいと思います。（運転方法は説明書を確認してください）

運転する際に気をつけること

○其の壱　作業中は周りに十分目を配り、人や動物を近づけない
○其の弐　作業範囲の異物（石、空き缶、木片等）は取り除く
○其の参　エンジン回転中に手や足を回転部分に近づけたり、機械の下に入れない
○其の四　操作方法をよく知っている責任ある大人が運転する
○其の五　使用前後には点検を行い、修理・調整を行う

メンテナンスについて

ガソリンタンク

オイルタンク

エアクリーナー

芝刈機は使用前に①ガソリン量と②オイルレベルの点検、③エアクリーナの清掃をお願いします。乗用芝刈機についてはガソリンが約 13ℓ入ります。1 時間におよそ 3～4ℓ消費するため、3、4 回の使用でガソリンが空になります。またエアクリーナーはスポンジ部分を取り外し、水でもみ洗い等をお願いします。

また④機械（特にデッキ下）の清掃をこまめに行い、水で芝や屑を洗い流してください。ホースを直接取りつけ、洗い流すこともできます。

機械下部（ホース取付位置）

定期点検について、乗用芝刈機は使用時間数で初回が 10 時間、2 回目以降は 50 時間が目安です。メーターで時間数を確認してください。

ブレード（刃）について、使い方によっては、5 回に 1 回の頻度で研磨したほうが良いとの説明がありましたが、基本的には芝があまり刈れなくなってきた時と、年度終了後（長期保管前）に、グラインダー等で研磨するようお願いします。幼稚園の手押式芝刈機の交換（研磨）につきましては、取替えが困難なため施設係で対応したいと思います。芝刈機につきましても芝と同様にこまめに手入れをし、大事に使用していただきますようお願いします。